



園長コーナー

暖かかった秋も終わり、ようやく冬がやってきました。水遊びからドングリ拾い、葉っぱ集め、鬼ごっこ、かけっこ等、遊びも変わり、子どもたちは季節を感じながら、過ごしています。

保育園で育てている亀のカメル君やザリガニたちも冬の準備を始めました。

今年は、ザリガニのマリオ太郎が松秀幼稚園からまつほさんをお嫁さんを迎え、見事にたくさんの赤ちゃんが生まれました。だいちの親代わりのおこさまが、育てきた赤ちゃんの様子を見て、このまま大きくなると水槽が足りなくなる。と気づき、「先生・赤ちゃん家で育てられる?」「何匹連れて帰ってもらえる?」と職員一人一人に尋ね、赤ちゃんのおうち探しが始まりました。私も6匹の里親になりました。毎日、お世話をし、成長観察すると自然と日々大きくなるザリガニが愛おしくなってきました。1匹1匹色が違ったり、大きさが違ったりしていることがわかるようになってきました。昼間はゆったり自ら半身を出して水草につかまっています。残念ながら、兄弟姉妹のはずなのに、ご飯の時間は、餌を奪い合ったり威嚇しあったり、小さな水槽の中で命を懸けて戦いをしているようです。自然のおきてですが、こんな小さなザリガニも一人で生きていくんだと感心し、もって帰るのをためらっていましたが、今は大きく育ち自然に返す日を楽しみに成長のお手伝いをしようと思っています。

ザリガニを育ててみようと思う方は申し出ください。だいちの厳しい審査はありますが、里親になってください



<お腹にたくさん子どもを抱えています10/28生まれ>



<お母さんのおなかから離れて一人立ち>

<うれしいお知らせ>

この度、田中先生が11月28日に結婚されました。新姓は「原田」先生になります。どうぞよろしくお願いいいたします。温かく見守ってくださいね!

<お願い>

園では、職員間の保育の申し送りを大切にしています。幹部会議・全体会・乳児会議・幼児会議・リーダー会議・こやし会議(3年目まで)・献立会議、合計7会議を行い、それぞれの子どもの様子やエピソードを話し合ったり、関わり方を皆で共有したりして保育を進めています。一日の、時間のない中で話し合っていますが、月1回は全体会議で意見交換や検討会をするために保育終了後、職員全体で話します。12月からは、最終の第3期の計画をこれまでの反省をもとに進めていく会議を持っていきます。テーマをたてて取り組んだ保育や、子どものつばやきをもとに進めてきた保育等来年時につなげていく大切な時間です。

『会議があります』とお知らせさせていただきますので、その日はお迎えに来られた際は速やかに降園をお願いしたいと思います。ご協力お願いします。

<お詫び>

今月の予定している「お餅つき」は恒例で楽しみにされている保護者の方が多く、お手伝いの締め切りが早くなり申し訳ございません。幼児保護者を優先に考えていますのでよろしくお願い致します。楽しく、おいしい一日になりますように・・・

にこにこメッセージ♪

暦は早くも年の瀬、私の中ではあっという間に冬を迎えました。

街の木々は、赤や黄色に色付いた葉っぱがきれいにあちらこちらで舞っています。11月は、どのクラスも東三公園や交通公園、西宮神社など色々な所へ散歩に出かけました。こどもたちは拾った落ち葉や木の実を大事そうに持ち帰り、園で待つこどもたちのおみやげにしたり、制作の材料にしたりと拾った秋が様々なものへと変化していきます。どのようなものが作られているか、またのぞいて見て下さいね。

10月から28年度の入園希望の方が園見学に大勢来られています。

対応は基本、園長先生か藤森が行っていますが、多い日は6組同時という日もあり、あまりにも多さに、やむを得ず複数の方と一緒に案内をすることもありました。見学に来てくださる方とお話ししながら、保育園のことでだけでなく、子育ての様子を伺い、園見学に来てよかったと思ってもらえるようなお話ができたらと思い、丁寧に進めています。現在、在園の方も様々な園を見学し、ご縁があってかえで保育園に入園されていますが、園側に見学の際のアドバイスや見学の際の思い出話やこんなことが聞けてよかったというようなこともお話を聞き参考にしたいです。そしてこれからも西宮の子育て中の保護者の方のサポートも保育園の役割だと思い日々対応していきます。

主任保育士 藤森寿美

～つぼみぐみからのお知らせ・お願い～

- ・連絡帳が新しく変わります。各ご家庭でノートの準備をよろしくお願い致します

～幼児からのお知らせ・お願い～

- ・長袖と肌着は常備して下さい。
(半袖も様子を見て使用しますのでご準備お願い致します。ズボンは長ズボンで結構です。)

〔せんせいからのおはなしコーナー〕

私は、今年度に入ってから趣味程度としてランニングを始めました。始めようと思ったきっかけは、『体を鍛えて健康になりたい』『おいしいものをたくさん食べたい』『肩こりを改善したい』など様々でした。結果としてダイエットに繋がることを期待しながら始めました。それから一ヶ月半程、二日に一回のペースで仕事が終わってからランニングを続けていました。しかし、『今日は疲れたし明日やろう』という日が何日か続き、いつの間にか中断してしまいました。一度中断してしまうとなかなか重い腰が上がりずランニングを辞めていつの間にか二カ月程経ってしまっていました。『なんか肩こりがひどいし、体も重たくなってきたしそろそろ始めよう～』と思いながらも再開できずにいました。そこで、私はみんなに宣言をして走る事にしました。今このかえでゆうびんで宣言をしようと思います。

わたしは、本日12月1日から誘惑に負けず、毎日走ります！！

ランニングは走り出すといろいろなことを考えて、汗をかき、気持ちもリフレッシュされますし、腕をふって走ると肩こりの改善にもなります。やり出したら楽しいです。

趣味程度としても、健康のためにとってもいいスポーツだと思います。せっかく買ったランニングシューズを無駄にしないためにも、ランニングを再開する事を宣言します。

西原 早希

ねらい：「手指を使ったあそびを楽しむ」

う た：「ジングルベル」「てをたたきましょう」

11月はお忙しい中、保育参加・懇談会にご参加いただきありがとうございました。

入園されてもう半年以上経ちましたが、保育園の生活にもすっかり慣れ、一人ひとりの成長や普段のご家族と離れているときの保育園の様子を見ていただけたのではないかと思います。

昨日出来なかったことが一日経つだけで、今日になると出来るようになっていくことも多く、お迎え時に保護者の方にお話をするのはとても楽しい時間です。これからも子ども達のことはもちろん、色々な話をお伝えしたいと思います。12月はいよいよ本格的に寒くなり、お部屋の中であそび時間も多くなりますので、手指を使ったあそびや簡単なお絵かきなどを楽しみ、成長にわくわくしながら過ごしていきたいと思っています。



“バギーに乗ってお散歩”

11月はみんなでバギーに乗ったり、歩けるお子様は保育者と手を繋いで何度かお散歩に出かけられました。保育園の近くのバス停でバスを見たり、交通公園まで行ってバギーでぐるっと一周したり、保育園の外に出る機会を持つことができました。

お散歩は、みんなとても嬉しいようで、バギーを運んでくると、「早くのせて！はやくはやく」と言っているように一生懸命手を伸ばしてきます。道行く人に手を振ってニコニコ！バスや大きなトラックが来ると、「あー」と大きな声を出して嬉しそうに手を振っています。落ち葉やどんぐりを拾って目の前まで持ってきてあげると、つんつんと少し遠慮気味に触って「んふふー」と嬉しそうに笑っているめばえさんです。



“ラーメン体操がはじまるよー”

午睡から起きておやつが終わった後は毎日、大好きな体操をしています。音楽の準備をしている時からみんな待ち遠しくてもうすでに体を動かして待っている子もいます。

音楽が始まると、両手・両足身体全部を動かして一生懸命保育者の真似をしようとする姿はとっても可愛いです。

“担任の思い”

ある日のお散歩で公園から帰ってくる時に、バギーの上にひらひらと蝶々が飛んできて子どもたちの目の前に止まっていました。みんな怖がったりはせずに不思議そうな顔で見っていました。「触ったらびっくりするからね」「しー」と人差し指を立てて小さな声で話しながら蝶々を見ていると、子どもたちも触ろうとする手を止めて、今まで声を出して手を振っていた子もじっと静かに蝶々を見ました。そのまま蝶々はバギーに止まった状態で一緒に保育園まで帰りました。

保育者が話している時の表情や仕草などを見て、どんな事を話しているのか子どもたちなりに理解しようとしているのを感じる出来事でした。表情を豊かに少しオーバーなくらい身振り手振りも交えて楽しく明るくたくさんお話をし、子ども達の言葉がどんどん増えていくよう見守っていきます。

～ふたばくみ～

ねらい：「体をたくさん動かしてあそぼう」

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」

わらべうた：「もりすみおかた」

最近では肌寒いと感じる日が増えましたが、子どもたちはまだまだ元気いっぱい外遊びを楽しんでいます。フラフープ列車や砂場あそびが人気で、泥だんご作りをする姿も良く見かけます。寒さがどんどん増していきませんが、今月も体調をみながら園庭でたくさん走って、触って遊びたいと思います。



“おさんぽ”

先日、ふたば組では秋の心地よい風を感じながら 14 人全員で交通公園までお散歩に行ってきました。子どもたちは朝から「こうつうこうえんにいくの！」とウキウキした様子で、遊んでいても何だかソワソワ…。帽子を被り、靴を履くと、「まってました♪」と言わんばかりの笑顔で保育園の玄関を出ました。しっかりお友だちや先生と手を繋ぎ、交通マナーを守って交通公園に行った後は、大きな遊具やどんぐり拾いをして遊びました。春のお散歩より長い道のりを、しっかりとした足取りで進んで行く姿に嬉しさを感じるとともに、またみんなで色々なところに行ってみたいと思う瞬間でした。



“どろだんご”

砂あそびの大好きなふたば組のお友だち。砂場でおままごとをしたり砂山をスコップで掘ったりと、毎日何らかの形で土に触れていることが多いのですが、最近では泥だんご作りをしている姿がたくさん見かけられます。最初は土に水をかけて流れを楽しんだり、先生や幼児さんにおだんごを作ってもらったりしてにこにこしていたのですが、今では自分で泥をぎゅっと握り泥だんごを作る子も出てきました。幼児さんのそばでジ〜っとその様子を見て、こうやって砂をかけるのだな・転がすのだなとまねっこして作っている姿もみられ、どんな素敵なおだんごが出来るのだろうと楽しみで仕方ありません。



“担任の思い”

最近、お友だち同士の関わりがさらに増えてきたなと嬉しく感じています。低月齢のお友だちの「これは？」と言う声かけに、今までは私たちが「〇〇だよ」と答えることが多かったのですが、今ではお話の上手なお友だちが「トラックだよ」「りんご！」と答えてくれるようになりました。遊びの中ではまだまだ一人で楽しんでいることが多いのですが、日々の何気ないやり取りの中で、子どもたち同士が自然と関わりあえていること、周りを意識して行動出来ていることを、私たちも保護者の方に伝えていけたらと思っています。

子どもたちは今、自分で着替えを取ってきて着替えをする練習をしています。はじめは「お着替え持って来てね」と伝えても何も持たずに帰ってくることもあったのですが、今では自分の名前の付いたお着替えセットを持って座り、ゴムを外して着替え始める子も出てきました。首を通し、両袖を「よいしょよいしょ」。首の所から手が出たりと苦戦しながらも「自分でする!」と何度も挑戦する微笑ましい姿も沢山見られます。

ねらい：お友だちと遊ぶことを楽しむ

う た：「あわてんぼうのサンタクロース」

絵 本：「ぐりとぐら」「タンタンのしろくま」

手遊び：「ごんべさんのあかちゃん」

11月はお忙しい中、保育参加や懇談会に参加していただきありがとうございました。「今日は誰がくるの？」と子どもたちも毎日楽しみにしていました。

最近はお兄ちゃんやお姉ちゃんに関わる機会が多くなり、園庭で会うと手を繋いだり声を掛けあったりと仲良くしている姿が多く見られるようになってきました。

一緒にお散歩



ひかりぐみのお兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に西宮神社にお散歩に行きました。お名前を呼んでくれたお兄ちゃんお姉ちゃんの所へ行き、手を繋いで出発！横断歩道の渡り方を教えてもらったり、お話したりと楽しく神社に向かうことが出来ました。帰りは少し疲れていたお友だちもいましたが、お兄ちゃんお姉ちゃんに助けてもらいながらもしっかり歩いて保育園まで帰ることができました。

ピアノに合わせて♪



毎日お集まりで歌を歌っています。歌が大好きなつぼみさんは、少し長い歌も上手に歌えるようになってきました。ピアノに合わせて歌う機会も少しずつ取り入れています。にこにこ広場で歌う時には何も言っていないのに2列に並び合唱団のように上手に歌を歌っています。楽器に触れる時間もさらに増やしていこうと思っています。音楽大好きなつぼみさんになって欲しいです。

“担任の思い”

お兄ちゃんお姉ちゃんとの関わりも深まってきましたが、最近につぼみのお友だちとの関わりもより一層深くなってきました。「どうしたの？」「大丈夫？」と声を掛けてあげる子も増え、今ではお外でこけても先生よりも早く駆け寄り「いたいのいたいのとんでいけ」と見てくれています。12月はかくれんぼやしっぽ取りなどお友だちとたくさん体を動かして元気に遊びたいと思います。保育者が仲立ちする中でお友だちの気持ちを知ったり、自分の思いを伝えたりすることをたくさん経験して欲しいと思います。

～いぶきぐみ～

ねらい：「好きな遊びを見つけて、継続して遊ぶ。」

う た：「虫の音」「どんぐりころころ」

最近のいぶき組は園庭に出てふたば、めばえ組の子がいる「一緒にあっち行こう！」「すべり台する？」と自分から声をかけて遊ぶことが多くなりました。「お名前呼んだら笑ってくれた」「手繋いでるの」と少しお兄さんお姉さんになった気分ようです。おままごとコーナーにも赤ちゃんの人形が加わり、お世話ごっこに興味深々。ミルクをあげたり、ベットに寝かせたり、抱っこをして「よしよし」「おむつかえようね」と小さなお父さんお母さんになっておままごとを楽しんでいます。



“カプラ、積み木あそび”

ひかり、だいちさんが高く積み上げる姿をじっと見て平らに並べていた物からどんどん高く積みあげて遊ぶようになりました。初めは1人で黙々と作っていた子も「ここ合わせてみる？」「もっと高くしてみよう」と1つ1つ作っていたものを一緒に合わせています。1つのものを一緒につくる楽しさを子どもたちで感じることができているのかなと思いながらみると…ガッシャン！壊れちゃった…「また作ったらいいよ！」とすぐに作り始めていました。



“どんぐり植え”

なす栽培から「次は何を植えようか？」とクラスのお集りの時に聞くと「どんぐりは？」と園庭のどんぐり集めに夢中になっていた子から提案が…「お花とかでてくるのかな？」と不思議に思って調べてみると芽が生えてくることを知りました。子どもたちに植えてみる？と聞くと「植える！」とその日から透明のコップを用意して「いっぱいになるぐらい集めよ！」と園庭中を探したり、お休みの日に公園で見つけたどんぐりを持ってきてくれました。すぐに視覚的に分かることではありませんが、土の循環や命の大切さをじっくり伝えていきたいと思えます。



“担任の思い”

園庭で見つけたどんぐりやまつぼっくり、お部屋の中で飼っているまつぼちゃんを見て「これってどんなのかな？」と調べるひかり、だいちさんが図鑑を読む姿を見て「なにになに？」と一緒に見たり調べるが多くなりました。折り紙や塗り絵も自分でできることはお友達に教えることもできるようになりました。自分ができることをお友達に教えて、苦手なことは一緒に考えることが子どもたちの中でできたらと思います。そこで出来なかった時の悔しい気持ちと、出来た時の嬉しい気持ちや達成感を子ども同士の関わりの中で経験することができたらと思います。

～ひかりぐみ～

ねらい：「年下の子のお世話に興味を持つ」

う た：「赤鼻のトナカイ」

先月は、異年齢の関わりを持つことが多かったです。久しぶりのつぼみ組との散歩では、以前のペアを子どもたちにもう一度伝えようとしたときに子どもたちから「覚えてるよ〇〇ちゃんでしょ」と言ってくれました。何気ない散歩での関わりですが、ひかり組にとってつぼみ組に頼りにされて「つれていってくれて、ありがとう」と言われた経験は思いで深かったのだとその時に気付かされました。これからもつぼみ組との関わりを増やしていき少しお兄ちゃんお姉ちゃんを味わってもらおうと思います。11月は温かかったのでほとんど半袖で過ごすことができました。ご協力ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。

“トマトのさいご”



ついにトマトの栽培が終了しました。20cm程の高さになっていましたが、今回も抜かれてしまいました。そして、みんなもその度に埋めてあげていましたが大きくなりず茎の色が変わり子どもたちも「もうかわいそうだね」といって抜いてあげました。「トマトが大きくなれなかったけど、次の人参を大事に育ててあげよう」と子ども同士で話していました。抜いた時は、「トマトさんありがとう」など優しい気持ちになる言葉が飛び交っていました。

“にんじんの栽培”



今回の人参の栽培は、ベビーキャロットと五寸人参の2種類を育てていきます。まず種の色を子どもたちと一緒に見るとベビーキャロットは緑色、五寸人参は茶色だったことに驚いて「どうして色がちがうの」とみんなで不思議そうにみていました。種を一人ひとりがまいていたので、できるだけバラバラになるようにと真剣に自分の目の前に種まきをしていました。その日から毎日毎日お世話で大忙しそうなひかり組です。園庭に



庭にですとすぐに「にんじんさん、だいじょうぶかな」と覗きに行っています。育てることにとっても熱心なひかり組。芽がでないことに心配していたり、心配のあまり土が少し凸凹になっていることを気にしてまっすぐになるように土をさわったり色々自分たちで考えていました。種まきをしてから、12日目の月曜日いつも通りに園庭にですとお休みの間に芽がでていたようで「やっと芽がでたよ」とみんなで大喜びでした。2種類を育てていき、土の中で育つ人参なので「あかちゃんにんじん（ベビーキャロット）」と「にんじん」の違いがどのようなところで分かるのか子どもたちの気付きを楽しみにしていきたいですね。この芽がでて喜んでいましたが、人参のようにではないので子どもたちは何か納得できない様子でした。本葉が生えてきた時には子どもたちはどのような反応をするでしょう。

“担任の思い”

トマトの栽培で色々な思いを経験しました。自分たちが育てたトマトから栽培をすすめていき、芽がでた喜びは子どもたちのなかでステキな経験ができたかなと思います。トマトの栽培を終了するときどのように子どもたちに相談しようかと悩みました。ですが、子どもたちは茎の色が前と違う、大きくなってないということに気付いてくれていました。一緒に観察をしなくても自分たちが育てている栽培物という意識を強く持ち、様子を見ている子どもたちの素直な優しさにとっても嬉しかったです。今回の栽培は2月頃まで続きますので、以前の栽培のときの反応や考え方とはまた違った意見がでてくるかなと楽しみです。

～だいちぐみ～

ねらい：「自分で考え、行動する」「一つのことを継続して楽しむ」

う た：「笑顔がかさなれば」

ザリガニの“まつほちゃん”と“マリオたろう”の間に生まれた沢山の赤ちゃんたち。3つの水槽に分けているのですが、「こっちの赤ちゃんは大きいな」「これは大きいからオスかな」「ねえ、水が汚れてきたから替えよう」と成長を楽しみにしているだいちさんです。しかし全てかえで保育園で飼うとなると、数えきれないほどの水槽がいる…ということで、他園のお友だちにもお願いしてみたり、別のクラスの先生に頼んでみたりと、熱心にお世話してくれる子もいました。

「僕のおうちでも飼いたい！」という子もあり、おうちの人と話し合って決めておいでと声をかけています。

だいち組になり生き物を大切に想う気持ちや、命の大切さを経験を通して感じてきただいち組です。

もしお子さんから声が上がった時には、気持ちを受け止め、一緒に考えていただければ嬉しいです。



“はじめましての勇氣”

交流会続きの11月、お弁当の準備や登園のご協力など、ありがとうございました。保護者の方々のご協力もあり、“お家の方にしてもらおう”のではなく、“自分自身で意識して用意する”という習慣にもなったのではと嬉しく思います。交流の中で印象的だったのが、初めて会う人への接し方の変化です。保育園内では顔見知りの人との関わりが多く、初めて会う人、初めて行く場所というのはあまり経験がありませんでした。交流に出

かけても自分からどう声をかけていいのかわからず戸惑ってしまう場面が多かったのですが、子どもたちの様子が徐々に変わってきたのです。「こんにちは！」ゆめっこ保育園、朝日愛児館が来られた時には明るい挨拶から始まり、「2階のテラスに集まるから、こっちきて」「名前なんて言うの？ぼくは〇〇」「こんなのもあるよ、使ってみる？」数時間の交流でしたが、それでも帰る頃にはとても楽しそうに笑い合っていて、「え～もう帰るの？一緒にお昼ご飯食べたかったな…」という声まで聞こえてきました。そして数日後、大きな体育館で行われた児童交流会では、交流のあったゆめっこ保育園のお友だちを見つけると、互いにとても喜び緊張がほぐれていきました。すごいですね、相手を受け入れる素直な心を持っている子どもたちは、きっと小学校に上がっても大丈夫だ、そう感じさせてくれる交流会でした。

“お客さんが楽しめるには…？”



人形劇団『クラルテ』の人形劇を見てから、ペープサート(紙で作った人形の劇)を作っている子も出、幼児の部屋の中に人形劇コーナーを作りました。動物のパペットを何体か出しているのですが、子どもたちで配役を決め、どの話を演じるのか話し合いながらすすめています。なかなか子どもたちだけではストーリーの終わりが見えなくなってしまうので保育者もナ

レーターとして手伝いますが、自分たちで演じきった後にもらった拍手は、とても自信に繋がったようです。演じている自分が楽しいだけでなく、お客さんが見ても楽しい劇にするには工夫が必要なことを知り、途中で「もう人形劇やめる…」と投げ出しそうになることもありましたが、最後まで諦めずにすることで、「もう一回したい！明日もする！」とやる気を見せていました。また機会があれば、見てあげてくださいね。

別のクラスの保護者の方も、ぜひ♪

“担任の思い”

交流では全ての小学校に出かけたわけではありませんが、小学校や育成センターという場所を知り、少しでも安心出来ることで、子どもたちが小学校に上がることを楽しみに出来ればと思っています。また、“人と繋がるのが楽しい”と感じられれば環境が変わっても、人との関わりを楽しみながら繋がりを広げていけると信じています。

河本 彩奈

[保護者の方からのおはなしコーナー]



子どもたちのお家での様子が聞けたり、保育園での様子をお父さんお母さんにお話をしてくれているのだなあと嬉しく思います。



めばえさんの時から保育園に行きたくないと
言った事のない娘です。

保育園でも練習しているようで、最近では
お洗濯をたたむお手伝いをしてくれます。

「じょうずにできたでしょ〜？ちっさいおね
えさんだからね！」とうれしそうです。
まだまだ甘えん坊な娘ですが、少しずつ
出来ることが増えていくのが楽しみです。

つぼみ組 せつこさん

保育園で教えてもらったらしい歌をひとしきり振
り付きで歌った後、「はい！まま！」と振られるの
ですが、何の歌か分からない…「ごめんその歌知
らないな」というと不思議そうな顔をします。娘
の振付を保育園で再現して先生に歌を教えてもら
って、一緒に歌えるようになった歌がたくさんあ
ります。

手遊びも教えてもらって、一緒にすると娘がとて
も嬉しそうなので私も嬉しいです。

ふたば組 けいこさん

この夏、自転車に乗れるようになった長男。
道路に出ると運転が怪しくフラフラしてしまし
たが、だいち組のお友だちが自転車で移動して
いる姿を見て刺激されたのか？自分も「自転車
で行く」と言い、今では遠くの場所でも私の後
ろについて自転車で走ってきます。次男はスト
ライダーで特訓中。公園で遊んでいる姿を見る
と子どもたちの成長を実感します。

だいち組 ますみさん

『いまからえほんをよみます。』

『はい、めをあけてください。』

『ちゃんとすわってきいてください。』

『きちんとめをあわせないとよみません。』

就寝前に小さな先生がいつも絵本を読んでくれ
ます。

先生口調なのが微笑ましく、保育園での様子が垣
間見えました。

ひかり組 まきさん

つぼみ組からかえで保育園にお世話になる娘も
もうひかり組になりました。お昼ご飯が美味し
いと、毎日おかわりした事を教えてくれます。
家でも食べっぷりが良く、そのため体も大き
くなり、成長の早さに驚かされます。

先日仕事で疲れていたのですが、折り紙にはま
っている娘に頼まれて一緒に折っていました。
どうにかつくる事が出来て、喜んでいる姿に自
分も嬉しくなっていたところ、娘が急に私の肩
をトントン叩き始めてくれました。「お仕事に疲
れているのに一緒に折り紙してくれてありがと
う」という言葉にびっくり。体だけでなく、心
の成長も感じられ、嬉しさが2倍になりました。
次はどんな成長を見せてくれるか楽しみです。

ひかり組 あきこさん



～お台所から～

外の空気もだんだんと冷たくなり、温かい食べ物や飲み物が恋しい時期になってきました。

ね。11月6日～7日に行われた、だいち組のお泊り保育での夕食にも、土鍋で煮込んだ温かい“おでん”を皆で囲み、おいしくいただきました。

おでんを作るために、下ごしらえなどの準備とおでんに使う“だし”も子ども達でとりました。今月はその“だしとり”の時の子ども達の様子をお伝えしたいと思います。

まず初めに、だしに使用する昆布とかつお節を手に取り、香りや硬さなどを指や目・鼻をフルに使い各々でいろいろなことを感じ取っている姿がありました。

かつお節を実際に食べてみると「おいしい～」や「なんかたべたことある味」「お好み焼きの上ののってるやつや」などの言葉が出てきていました。

それから、水をはった鍋に昆布を入れ、沸騰するまで待ち、昆布を取り出すと・・・

鍋に入れる前に比べ、何倍にも大きくなり形や硬さ・色も緑へと変わっており、それを見た子供たちは、「おお～!!!」と声を揃えて、その変化に驚いていた様子でした。

ここで、昆布だしの試飲をしたところ「おいしい～」「海のおいみたい」や「おいしくない」「苦い」という感想もありました。

それから、ひとり一掴みずつかつお節を取り、鍋に入れてかつお節が沈むまで待ってから、かつおと昆布の“合わせだし”の試飲をしました。

昆布だしの時とは違い「いい匂い」「お魚みたいな味がする」「うどんの味がする」など具体的な内容の感想が出てきて、子ども達の味覚に驚かされた瞬間でした。

かえで保育園では、昆布とかつお節の合わせだしを毎日とって離乳食をはじめ乳児クラス・幼児・職員が食べている食事に使用していますので、子どもたちにとっては身近な味になっていると思います。しかし、“だし”だけで味わったことはなかったので、出しの旨味の分かる体験ができたと思いました。

だしの“旨味”をおいしいと感じる味覚は先天的にあるものの、“風味”をいい匂いとかんじる臭覚は体験しないと身につかないらしく、小さいうちにだしのうま味と匂いを体験しておくことはとても大事なことです。

ご家庭でも、子ども達と一緒にだしのおいしさを味わってみませんか？

だしをとるのは面倒・・・難しくない？というイメージがあるかと思いますが、意外と簡単ですよ！



※このレシピは切り取ってお使いください。

----- ✕ 切り取り -----

人気メニュー
紹介



☆基本の合わせだし（1ℓ分）☆

<材料> 昆布 5cm角・・・2枚 かつお節・・・15～30g 水・・・1ℓ

<作り方>

- ①鍋に水と昆布を入れ沸騰寸前まで火にかける。（昆布からぽつぽつと泡が出るくらい）
- ②沸騰したら火を止め、昆布を取り出し、かつお節を入れて、沈むまで待つ。
- ③キッチンペーパーで濾して出来上がり☆

ぜひ、お試しください！

原 夕貴



- 12月8日(火)は移動動物園があります。動物アレルギーのお子様は事前にお知らせください。駐車場が動物園になりますので9時以降の車の駐車はできません
- 12月4日(金)はおもちつきがあります。皆でついたり、丸めたりしておもちを食べて楽しみます。
- 12月7日(月)～17日(木)まで関西学院大学の学生3名が実習に入ります。
- 12月3日(木)～17日(木)まで栄養専門学校の学生1名が実習に入ります。
- 冬休み中の学生ボランティアも保育の勉強に来られます。
- 12月22日は誕生日会・お楽しみ会があります。

こんなことしたよ♪

11月6(金)～7日(土)はだいちぐみのお泊り保育がありました。まっくら探検や各グループでの出し物、おでん作りやジャム作り、お友だちと一緒に風呂に入る等、普段は出来ない体験をたくさんすることが出来ました。閉会式では、子ども達の嬉しそうな笑顔が溢れて、少し大きく見えました。素敵な思い出の一日になり、嬉しく感じました。土曜日保育のご協力もありがとうございました。



11月17日(火)はクラルテ人形劇による、「いっしょいっしょ」、「はやくあいたいな」という人形劇をみました。目の前で動く赤い丸の動きや、楽しそうな声や音に、どの学年のお友だちも夢中になっている姿が見られました。子どもたちの笑い声や笑顔もたくさん見られる楽しい時間が過ごせました。



- 冬季保育は12月21日から1月4日までです。12月29日～1月3日まで休園です。26日(土)はお弁当日となります。(就労の方のみの保育になります)お仕事がお休みの方、育児休業中の方は、お家でゆっくりしてあげてください。休み中の連絡は080-3862-3352(園長携帯)まで
- 3日のおもちつき大会のお手伝い募集 たくさんのお手伝いありがとうございます。
- 武庫川女子大学より依頼があり、協力します。4・5歳の運動能力の調査を行います。(15日16日)後日、説明文・同意書を配布しますので目を通して下さい。
- 乾燥した日が続いています。保育園では、空気の入替えや加湿や空気清浄機を入れ、感染症が流行しないよう、衛生管理を進めています。保育園の登降園の際には必ず、手洗いやアルコール消毒をして頂きますようお願いいたします。



今月の予定

- 1日(火) 音楽
- 3日(木) ウェルネス
- 4日(金) おもちつき
- 8日(火) 移動動物園
- 10日(木) ウェルネス
- 14日(月) 歯科健診 10:00～
メヌエット訪問(ひかり・だいち)
- 15日(火) 運動能力・体力調査(4・5歳)
- 16日(水) 運動能力・体力調査(4・5歳)
- 17日(木) ウェルネス
- 22日(火) おたのしみ会・お誕生会
- 24日(木) 冬季保育(～1/6まで)
- 26日(土) お弁当日(厨房掃除のため)
- 28日(月) 保育終了 大掃除

- *新年は1月4日(月)(弁当持参)からです。
- *1月23日(土)は西宮保育協議会の職員研修です。保育は13時までとなりますのでご協力ください。